



題字は松井岳洋筆

No. 428  
平成27年5月

発行

(公社) 日本詩吟学院 認可

碩心会

発行者 内山岳青  
編集者 伊藤岳光

神奈川県藤沢市辻堂東海岸 1-7-28

Tel/Fax. 0466-33-2228

URL <http://sekishin.holy.jp>

吟力アップを目指して

副会長(兼) 教務部長 高橋 岳之



碩心会、春の審査会も終わり、会の目標としている一つに、吟力のレベルアップがあります。教務部で課題に取り組み

となり、教務部と師範会担当講師の先生方と意見交換を先日行いました。

支部の指導者のレベルアップが必要かつ大事という事となり、今年度を目標に5月より、原則毎月1回・内山・上村・加藤各講師による指導者対象の吟力アップ研修会を開くことになりました。皆様の先生がレベルアップ出来たかどうか期待して頂きたいと思えます。

先日、友人と久方ぶりに再会し、あまりにも若くはつらつとしていたので、理由を聞いてみると「かきくけこ」を意識しているとの事。「か」は感動する。「き」は興味を持つ。「く」は工夫

する。「け」は健康である。「こ」は「こうなりたい」という前向きに努力すること、内面の充実がいかに大切かを教えてくれました。生活の中や吟の世界でも同じ事だと思いました。残り少ない人生、楽しく、ゆとりある日々を吟を通して表現する『吟力』を養っていきたいと考えています。

みんなで増やそう新会員

紫陽花支部に4月1日付で6名の入会者がありました。新人確保のきっかけを世話役をされた中山辰山さんに伺いました。

支部独自の初めての方を対象とした「詩吟お試し教室」を3回計画、講師に根岸岳啓先生をお願いし知人、友人等に手作りのチラシを配布。第1回の参加者は1人でしたが、2回以降6名の参加者があり入会につながったそうです。「今後とも会員の増強に向け努力していきます」との頼もしい発言がありました。

伊藤

行事予定

碩心会総会

日時 5月23日(土) 開会午後6時

場所 逗子市民交流センター第2・3会議室

神奈川誠吟会創立55周年記念大会

日時 5月31日(日) 開会12時

場所 逗子なぎさホール

第24回神奈川岳風連合会青少年吟詠大会

日時 6月7日(日) 開会10時

場所 神奈川公会堂

神静地区師範吟詠大会

日時 6月23日(火) 開会10時

場所 小田原市民会館

碩心会温習会

日時 6月27日(土) 開会10時15分

場所 葉山町福祉文化会館ホール

岳風忌

日時 7月1日(水)

場所 諏訪地藏寺

第3回全国俳諧歌吟詠大会

日時 7月2日(木) 開会9時30分

場所 諏訪市文化センター

第3回全国青年吟詠大会

日時 8月8日(土) 開会11時

場所 小岩アーバンプラザ

昇伝段位認許

(平成27年4月1日付)

少年1名

146 吉田朋之進 (少三級)

初段7名

179 作山ミツ 180 金子笑美子

182 小林ふみ 183 清水淳子 181 雲居隆栄

185 中谷恵子 184 北本綾子

二段1名

172 羽白昌平

初伝6名

166 佐々康泉 167 上本里泉 168 三並蒼泉

169 結城翔泉 170 岩田文泉

三段8名

157 小俣信泉 158 馬場奎泉 159 中島千泉

160 井上裕泉 161 野村京泉 162 小金井歩泉

163 弦巻康泉 164 鈴木実泉

四段6名

151 本多菊泉 152 新井洋泉 153 山田眞泉

154 伊藤琴泉 155 片桐泰泉 156 寺山紀泉

中伝3名

145 吉田桜山 147 伊藤洋山 148 山口青山

五段3名

137 山中郁山 138 吉田深山 139 常盤仙山

六段1名

134 古敷谷江山

奥伝1名

122 斉藤悠風

平成27年春季審査会

篁風支部 伊藤洋山

3月28日(土) 春季審査会が葉山町福祉文化会館で行われました。桜の花が和らかな春の日ざしを一杯に受け、私達を迎え入れてくれます。

審査会場へ進み役員の方々による受付を済ませ審査の始まりを待ちます。開始時間です。いよいよ審査が始まります。

順番を待つわずかな時は緊張しました。マイクの前に立ち思いを込めて精一杯吟じました。「吟じ終わって清風起る」まさにこのことで、終わったあとの清々しさ、緊張がほぐれほつとした気持ちは言葉になりません。

午前の部が終わり審査員の先生方からの講評です。吟ずる時の正しい姿勢、間の取り方、声の出し方、和歌の吟じ方等基本的な事の教えを受けました。

そして私は感じました。言葉は不思議な力を持っています。人に苦しみを与えもすれば、喜びや幸せを贈ることも出来ます。今日受審した皆さん一緒に幸せになるお褒めの言葉を審査の先生方から賜り、次の目標に向かってガンバレル勇気を頂きました。

今後はご指導くださる高見先生の下、楽しく一步一步吟道に励みたいと思います。

生活リハビリクラブ葉山慰問

葉山地区長 行谷隆岳

立春も間近の頃、公演の依頼を受けた。土曜日の要望。碩心会の行事が立て込んでおり2月14日しかない。当クラブ小規模で10名ほどの受け入れである。

会場を訪問し責任者と打合せをした。常任理事会に連絡し、私の一存で会場に近い三支部(一色・東伏見・滝の坂)をお願いして公演することにした。

聞けば当クラブには碩心会の相談役だった中村岳愛先生がおられるという。伊藤岳光先生の舞の師匠でしたから、一色支部には特に好意的に協力を頂き有り難かったです。

「開会の言葉」(伊藤)・「挨拶」(上村)  
「富士山」(合吟)

「名鎗日本号」(吟田邊) (舞岡田)  
「春望」(吟大坪・角田) (舞上野)

「山行」(吟有友)・「胡隠君を尋ぬ」(吟広瀬)  
「本能寺」(吟上村・市川・行谷) (舞野村)

「静御前」(吟伊藤・小菅)・「自訟」(吟上村)の8題を演目とした。最後に私が「紅白旗の昇降ゲーム」をやり遊んだ。「閉会の言葉」(有友)で終了。40分程度だったが、出演者に変化を込めて力強く演じて頂いたので大成功裏に終了できたかと思う。感謝です。

## 第6回全国認可団体代表吟道大会

3月15日(日) 東京の日経ホールに於いて標記大会が盛大に開催され、各地から参集した女性吟者の和服姿が全国大会らしい華やかな雰囲気醸す。吟詠は一部、二部にわたり各認可団体を代表する吟者103名に伍して、碩心会から磯村岳朋副会長が名を連ね「平敦盛」綱谷一才を吟じられ、哀切蕭々たる詩情表現に大きな拍手を呼んだ。吟詠はマイク無し、伴奏無し。これが一層の緊張を呼び、真剣に聴き入る。

特別番組「日本漢詩の旅」は日本詩吟学院の機関誌・吟道が50回を超えて連載する漢詩に詠まれた日本各地の歴史を尋ねるシリーズから。優秀吟者に列する24吟士の競演。内山岳青会長は「舟宿暗門。憶曾隨家君泊此、今十一年矣」頼山陽を詠じられた。模範吟―その精髓を謹聴、加えて挙措をも揺るがせにしない姿勢は吟道修得の輝きを見る思いがした。舞台上に漲る緊張感、は聴く側も疲れを覚える。詩吟の魅力は言葉、人物、歴史にわたり、奥が深い。 常盤

## 尚齒会全国吟道大会に出吟して

東伏見支部 森合 盤岳

桜花がチラホラ咲きの好季節、3月25日に東京の日本教育会館一ツ橋ホールで開催、日

本全国から70歳以上の会員を出吟対象とする吟道大会で、尚齒会の名称は齒は年齢、尚は尊ぶの意つまり敬老大会で、出吟された方々は豊かな人生経験を精一杯の吟声にのせて満堂を圧倒した観がありました。独吟あり合吟ありの110出吟数で、本碩心会からは森合(独吟)、大内翠岳、山本新岳、小林芳岳、小金井歩泉(合吟)の5名が出吟しました。

全国大会としては第3回、頂いた記念バッチは、吟と氣をあしらった素敵なものでした。

## 皆伝会出席して

東伏見支部 由谷 悦岳

去る2月28日(土) 葉山港湾管理事務所会議室に於いて皆伝会が行われました。

上村先生の開会のことば、そして碩心会の詩の合吟、私は一番目の出吟とあつて緊張のかたまりのまま吟じ終えました。

皆伝会に出席する様にとお話しを頂いてから不安の日々でしたが、楽しみでもありました。それは、諸先輩の吟を拝聴出来る事、前日にプログラムのお名前の下に教本のページを書き込み、当日は高段者45名そして、内山先生、上村先生、加藤岳洵先生の素晴らしい吟を聴かせて頂く事が出来、皆伝になれたばかりの私にとって大変勉強になりました。

午後からの懇親会も和やかに行われました。

## 相州岳風連合吟道講座

相洋支部 乗松 力風

小雨がぱらつく3月8日(日) 横須賀生涯学習センターで標記吟道講座が開催された。

第1講は磯村碩心会副会長が漢詩「春暁」と「名槍日本号」、第2講、翔風吟道会の中村副会長が律詩「近江八景」。第3講、神奈川誠吟会の桑波田会長が和歌「かきもせず」、俳句「古池や」。第4講、神奈川青嵐会の村島会長が近代詩「暮坂峠」を講義。

各講ともに笑いあり、歴史の勉強ありと解り易い内容で素晴らしい講義でした。特に印象的だったのは「詩吟を吟ずるには作者の詩情、背景等を理解する事が大切」。詩吟は大きな声を出す事により健康によい、楽しいと今まで吟じてきました。日頃教室で先生より、今日の講師と同じ事を言われていましたがそれらを疎かに聞いていました。今回の講座に出席し加藤先生への師事が如何に大切かを改めて教えられた次第です。

## 平成27年初吟会 会計報告

	科目	金額
収入の部	前期繰越金	4,179円
	参加費	414,000円
	雑収入	9,000円
	合計	427,179円
支出の部	式典・新年会	41,000円
	飲食代	328,854円
	傷害保険	2,205円
	事務・通信費	6,000円
	会議費	13,384円
	運送・交通費	11,000円
	雑費	14,668円
	次期繰越金	10,068円
合計	427,179円	

雅号の由来

長柄支部 加藤典山

私が詩吟に出会ったのは、昭和39年金沢八景にあるN製鋼所に転職したのがきっかけとなった。配属された職場の先輩が詩吟を趣味とされ、お昼休みは工場の片隅で大声で詩吟をしているのを何回か聞いてみると、自分も吟じてみたいという衝動にかられ、指導を受ける事になったのが始まりです。他の職場の方も多数いて同好会の様な形で稽古をしていました。時々外部から先生をお呼びし指導を受けていました。正式には金沢八景と六浦の二カ所に教室があり、地域の人達と一緒に練習に励んでいました。その時の指導は松本岳蔦先生で、声量があり豪快に吟じられるのが印象的でした。当時はコンダクターの様な楽器や携帯用のカセットテープレコーダー等は無く、先生の口伝方式で覚えたものです。詩吟は正確な読みと抑揚が大事で、余韻は母音に返して引くことの大切さを教えて頂きました。先生の吟じ方を真似るこ

会員のうごき

- \*入会 (4月1日付)
  - 191 遠藤千代 (紫陽花) 葉山町堀内  
紹介者 根岸岳啓
  - 192 中条千代子 (紫陽花) 葉山町堀内  
紹介者 曾村静岳
  - 193 藤井チトセ (紫陽花) 葉山町一色  
紹介者 曾村静岳
  - 194 後藤節子 (紫陽花) 葉山町堀内  
紹介者 中山辰山
  - 195 増田悦子 (紫陽花) 葉山町一色  
紹介者 中山辰山
  - 196 鈴木健二 (紫陽花) 葉山町堀内  
紹介者 中山辰山
- \*入会 (5月1日付)
  - 197 山藤英昭 (渚) 葉山町長柄  
紹介者 有友嘉岳
- \*退会
  - 15 杉山岳雪 (紫陽花) 44 大前岳千 (悠吟)
  - 110 梅澤彰風 (酔吟)
- \*指導者変更
  - 真澄支部 村田岳瀨 → 高橋岳之 (木曜教室)  
菊池岳悠 (金曜教室)
- \*支部長変更
  - やよい支部 渡辺岳雲 → 山下信風

とを強く感じました。先輩の方達と二年程勉強した後、審査を受けることになり、初伝を受審した際、金州城(乃木希典)を吟じた。雅号はその作者の一字をとり、先生から典泉の雅号を頂いた。その後、40数年の中断を経て、平成22年に入会し、平成24年に再び初伝を受審し、同じ雅号を用いて再出発となった。

「楓橋夜泊」と私の詩吟

やよい支部 山下 信風

昨年2月、上海に居る娘から『旧正月の連休を利用し、世界遺産の蘇州・寒山寺に来ています。中国でその禅寺は「楓橋夜泊」と言う漢詩で有名だそうです。詩吟でも、詠う事があるの

でしょうか?・・・』とメールが届きました。

娘家族が上海に移って2年近くなり、家内は孫に会いたい様子でしたが、尖閣問題やPM2.5等でなかなか足が向きませんでした。このメールに背中を押され、2カ月後には娘家族と共に寒山寺の「楓橋夜泊」の碑の前に行きました。

蘇州は長江の入口に位置し、幾度も都となり、経済文化都市として発展、寺院・庭園の多くが残り、その一つが寒山寺でした。詩が詠う楓橋と客船を目の当たりに、「楓橋夜泊」碑の前で口ずさんでしまいました。蘇州・上海の多くを観光し食し飲み楽しい旅行となりました。

最近これ以上は、と自分の詩吟に限界を感じていましたが、続ければこんな新たな出会いがあるのではと、詩吟教室に向かう今日この頃です。

編集後記

新緑の美しい候となりました。今号よりA4サイズとなり、文字も少し大きくなり読み易くなりました。来る温習会に向け、自分の目指す吟詠に近づいたため一生懸命努力されている事と思えます。たとえ歩みは遅くとも、大切なのは基礎の積み重ね、そして内面を磨くことも重要な事だと思います。 広報部

27年5月1日現在会員数	
逗子地区	114名
葉山地区	76名
合計	190名